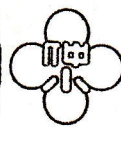


平成25年度
NO. 2
4月30日発行
5月号

仲町だより



なかよく
まなぼう
ちからいっぱい
練馬区立仲町小学校

美しいみどり

校長 澤井 英子

4月の終わりに、3学年（2年生・3年生・4年生）と遠足に行きました。城北公園も光が丘公園も和光樹林公園も、新緑のみどりが美しく、風が薫り、すがすがしく感じました。

遠足の名の通り、非常時に備え、近隣で行われるようになった行事ですが、どの学年の歩き方も、「おひさま」「お（押）さない・ひろ（広）がらない・さわ（騒）がない・ま（間）をあけない」を一人一人が考えながら、2列で整然と歩けるようになってきました。

特に、4年生が和光樹林公園に行った帰路、上板橋の商店街を歩いていたところ、買い物に来ていた人々が、「何てたくさんの子供がいる学校だろう」「こんなに静かに歩いていて立派」と誉めてくださいました。引率の身として、とても嬉しくなりました。子供たちを校外に連れ出すときには、街の皆様迷惑をかけないよう配慮して歩いているつもりでも、予想外の行動があったり、ひやひやする連続ですが、子供たち同士で互いに気を付けあいながら歩いていることに、指導の成果を感じ、少しほっとしています。集団行動が、一つ一つスムーズにできるようにこれからも指導していきます。

【校庭補修工事】

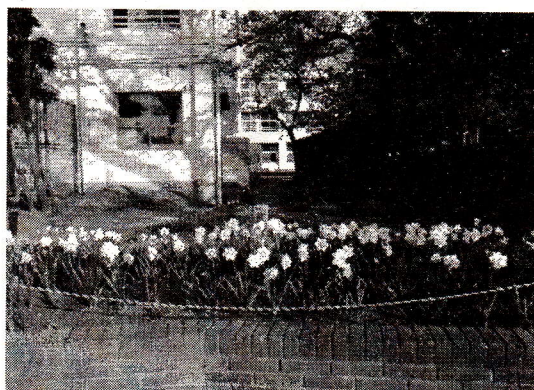
冬の積雪や春の大雨の影響で、校庭の砂がえぐれ、バスケットゴール付近に小石が出てきたり、水たまりが深くなってしまいました。

そこで、小石等を掘りあげ、危険がないように戻す工事を17日・18日に行います。校庭が半面使えなくなりますが、ご承知おきください。本来なら、工事が終わるまで、この部分を閉鎖したいところですが、これ以上校庭を狭くするのは忍びないので、足元に気をつけて遊ぶよう指示しています。

【水仙】

東門脇に、4月当初から美しく咲きそろっていた水仙は、地域の方に寄贈していただいた球根を、低学年の児童が植え付け、育てたものです。

1000球もいただいたので、2年生は各自の植木鉢にも植え、大切に育ててきました。美しく咲きそろった鉢の水仙は、お花だけ、各家庭に切り花として持ち帰りました。花を優しく手折り、持ち帰る子供たちの顔が嬉しそうに輝いていました。現在、球根を太らせようと育てています。水仙が校庭中で咲いてくると素敵ですね。



【教育実習生】

4月にお知らせした東京教師養成塾生は、1年間40週にわたり教師になるために本校で教育実習をする大学4年生です。これは、東京都の制度で、大学生のうちから学校現場の様々な取組を実地に学び、将来教師として勤務するときに、すぐに活躍できる人材を育成することを目的としています。

貝沼佑香さんは、主に1年3組で毎週金曜日に、青島瞬さんは、主に6年3組で毎週火曜日に実習します。貝沼さんは木曜日にもボランティアとして来校し、様々な学年の子供とかかわっていきます。